

「敬宮殿下御誕生記念の森」の育林作業を行いました。

塩那森林管理署(署長田中昌之)と「敬宮殿下御誕生記念の森」造成実行委員会(構成：塩那森林管理署、栃木県県北環境事務所、那須町、那須町森林組合、那須町観光協会、高久甲・新高久両共用林野組合、プランニングオフィスワン)は、12月1日、敬宮愛子内親王殿下の誕生日に「敬宮殿下御誕生記念の森」の育林作業を那須町の国有林(那須道路風景林)で実施しました。

この森は造成から6年間は、塩那森林管理署が保育を行ってきました。今では植栽木もすくすくと成長し大人の背丈ほどになりました。

谷本丈夫宇都宮大学名誉教授の育林作業の指導のもとに、当時の造成実行委員会のメンバー、地元老人会ら39名と

- 1 下草刈り
 - 2 アカマツの頂部欠損木の側枝の整理
 - 3 この森の目的、景観を考え生長の良いところでは下枝数段まで枝払い
 - 4 ゴヨウツツジの日照の確保のため周辺の整理
- などの育林作業を行いました。



微笑みの松付近 育林作業



枝払い作業と枝の集積

参加者は、地元では「愛子様の森」として親しまれている。誕生日に手入れできて良かった。国有林野監視員が巡視しているので、ゴミを捨てる人もいなくなった。などと話ししていた。

来年以降も「敬宮殿下御誕生記念の森」造成実行委員会と地元高久の人達と引き続き育林作業を行うことにしました。